はち　こう
八 工 News

福岡県立
八女工業高等学校
広報・情報課　　令和７年１１月発行
No20

創立１０５周年を迎えました
飛翔せよ八女工業！次の百年へ
～百から得た万の意思を無限の技術に～

芸 術 教 室

令和7年11月12日(水)実施

今回の芸術教室は演劇「１２人の怒れる男たち」を劇団東京芸術座の方々に上演いただきました。

このあらすじは、『1950年代末のニューヨーク、スラム街で起きた殺人事件。被告は18歳の少年であり、被害者はその父親である。被告の有罪は確実視されている。そして、少年の運命は無作為に選ばれた12人の陪審員の手に委ねられた。結果は有罪11票、無罪は1票となった。無罪に投票した陪審員は「1時間の話し合い」を提案し、有罪に投票した陪審員たちの無関心、冷笑、蔑視、敵意に怯むことなく有罪に対する「合理的な疑い」を提示する。本当に裁かれるものは何か、そして誰か、男たちの議論は白熱する。』

今回は一人の人間の人生を左右する重大な判決でしたが、私たちの学校生活においても、集団の意見に流されず、少数意見であっても冷静に議論を行うことの重要性について学ぶことができました。